

第68号

令和2年2月19日

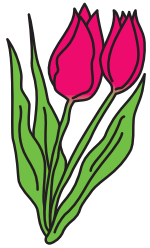
編集発行

足立区青少年委員会  
広報部

足立区教育委員会  
青少年課

<http://adachi-seishounen.jp>

足立区青少年委員会だより



区の花:チューリップ

# あだち

## 祝 足立区 成人の日の集い



受付



アンケート



誘導



抽選会補助

青少年委員会は「足立区 成人の日の集い」に協力しています。

### 梅の花に思う



足立区青少年委員会会長

下川 佐智子

元号が平成から令和になり初めての  
正月を迎えました。

元日の朝、庭の梅の花が一輪咲いて  
のを見つけてきました。厳粛な清々しい空  
気が周辺に広がっていました。

落葉してすっかり寂しくなった枝にた  
くさんの蕾がついていて、日ごとに少し  
ずつ大きく膨らんできました。厳しい寒  
さの中で次々と咲く白い花を愛でながら  
自然のすばらしさに感動しています。満  
開になるのはまだ先の日、毎日楽しみに  
思い描きながら眺めています。

この4月に青少年委員会は、新任の委  
員を迎えて、令和2年度がスタートします。  
青少年委員は蕾から花が咲くのを見守  
るように、子供たちの健やかな成長を願  
い、さまざまな取り組みを行っています。激  
変する環境の中で生きていく子供たちが  
「たくましく生き抜く力を育む」活動に、  
より一層邁進してまいります。

今後とも、皆さま方のご指導、ご鞭撻  
を賜りたく心よりお願い申し上げます。

# 令和2年度より小学校で新しい学習指導要領が全面实施されます

広報部では学習指導要領改訂のポイントについて取材をしました。また新しく導入されるプログラミング教育や外国語教育の研究校へ授業見学に行きました。

## 学習指導要領の改訂について 川下 勝利

青少年委員会広報部では、2020年4月から小学校において施行される新しい学習指導要領（以下、新要領）について取材をする事にしました。まず初めに、11月8日に荒井教育指導部長からお話をうかがう機会をいただきましたので、報告いたします。



荒井教育指導部長

主体的に学び続け自分の力を高める力・多様な情報社会において必要な情報を取捨選択し正しいものを判断する力・物事に取り組み中で試行錯誤をいとわない姿などを育成することとしていきます。そして「主体的・対話的で深い学び」を実現するために「アクティブラ

ーニング」の視点を持った授業を進めるための環境として、今年度の夏にはすべての小中学校の全教室にICT機器を整備し、教える授業から考える授業にシフトしていくとしています。

このような中、広報部で特に注目したものは、「プログラミング教育」と「外国語活動」です。プログラミング教育は、プログラマーを育成するだけでなく、論理的な思考を育てる事・自分の考えを道筋を立てて組み立てる事などを目的としています。実際にタブレットを使って簡単なコマンドを用いてロボットを動かすなど従来の環境で出来なかつた経験を積むことでプログラミング的思考を育てるのが可能となるとの事でした。

外国語活動については、英語を使って授業を進めるために教員の手助けができる「外国語活動アドバイザー」として25名が活躍しているそうです。アドバイザーは、授業中だけでなく、授業の進め方の助言や発音のアドバイスなどとして、以前は文法中心であった授業から会話を楽しむことにシフトしてきているそうです。

年間授業数については3、4年生の「外国語活動」や5、6年生の「外国語」について、新要領では増えています。足立区ではすでに移行段階である今年度から必要な時間を確保しているとの事です。また、モジュール授業の導入など過剰な負担とならないような工夫も取り入れているそうです。

最後に環境も内容も大きく変わってきている中、「子供たちにとどのようないかな支援ができるのか考えていただきたい。答えを教えるのではなく、子供たちの考えを引き出すような関わり方。読解力が弱い子供が多いことから本をたくさん読むことができ環境の醸成。そして、大人が新しいことに挑戦している姿を見せる事が、子供たちにとっても良い刺激になっていくのではないかと、地域で関わる大人への要望をいただきました。

当日は中学2年生の英語と小学6年生の算数の授業を参観しました。英語では、図のようにプログラミング的思考のポイントを黒板に掲示し、タブレット端末を用いて授業を行っていました。

### 興本扇学園 授業公開を参観して 木島 俊江

11月19日、興本扇学園で行われた「タブレットを活用した授業公開」を参観させていただきました。

当学園は「平成30年度、令和元年度の東京都プログラミング教育推進校」として、研究を重ねてきました。プログラミング授業というと、ICT機器を使った学習と考えがちですが、それは学習方法の一つである

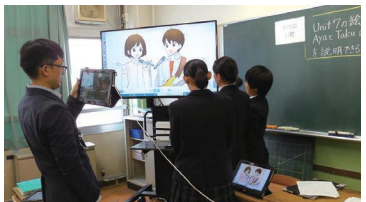
とのことでした。プログラミング的思考の育成をするために、ICT機器の活用や授業方法の工夫、改善を行っています。

先生方も、このような授業実践に至るまで試行錯誤があったとお聞きしました。子供たちの興味をひき、皆で共有できる様、研修を重ねたそうです。

#### プログラミング的思考

時間意識	イメージ力	目標 今、なにをすべきか？ (バックキャスト)
目的意識	協働意識	再トライ意識
見える化	失敗はむしろ歓迎	当事者意識

算数は比例の授業で、電子黒板（デジタル教科書）を使い、学んだ知識をどのように活用するか、思考力を高める授業でした。



ICTを使った英語の授業。自分たちの発表がすぐに振り返れます。

今回の参観で興本扇学園での授業が子供たちの成長を育む有意義な時間になっているに違いないと感じました。

## 外国語授業見学

大西るり子

11月5日、測江小学校へ外国語(英語)の授業見学に行きました。

6年生の授業。担任の先生の傍には外国語活動アドバイザーがいます。黒板には今日のめあて「職業を表す語を知り、友達と会話する」の文字。授業はカードを使ったり、ゲームをしたりして、職業の英単語を「見る」「聞く」「声に出す」ことを何度も繰り返し返した後、子供同士の会話へと進みました。最後には振り返りがあり「もっと職業の英語を知りたい」「会話がスムーズにできてうれしい」など子供たちの前向きな言葉が印象に残りました。

測江小学校は今年度、文部科学省の「民間機関を活用した小学校英語の効果的な指導方法等開発および成果普及事業」へ研究協力をしているということで、授業後に文部科学省、大学、学研、区の担当者、アドバイザー



6時間目。はじめHow are you?の問いにI'm sleepyと答えていた子どもも授業が始まればたちまち復活。アドバイザーによる授業の補助や不安解消や自信になるそうです。

ザー、校長先生、担任の先生にお話をうかがいました。「授業ではめあてをしつかり示し、子供たちが理解していくことが大事。繰り返すことで英語が頭にインプットされ、音に慣れ親しみ語彙が増える。選択肢を増やして自分の言いたいことを見つけて、会話へとつなげる」とのことです。

グローバル化していく社会を生き抜くため、外国語教育の充実を図るということですが、小学校からの英語はコミュニケーション能力も高めることに加え、中学、高校英語への素地になると感じました。

## 全体研修会に参加して

12ブロック 船橋 由美子

11月27日、区役所にて全体研修会が開催されました。

講師に、夕焼け放送や成人式の司会でお馴染みのフリーアナウンサー堀江慶子氏を迎え「アナウンサーとして心がけていること」をテーマに講演していただきました。



「足立区大好き、足立区出身のアナウンサー堀江慶子です」と元気に明るく自己紹介をされた後、アナウンサー

になったきっかけや、なつて良かったことなどを話されました。

その中で、司会の時に気を付けていることは「紹介する方の名前は間違えられないので読み仮名をふる。会場には早めに到着し、マイクのチェックはもろんのこと立ち位置やスピーカーの場所まで確認する。話す時は、はっきり・ゆっくり・間を取り・集中して」とのことでした。話すためには、普段からの喉のケア、発声練習、特に口の周りの筋肉を鍛えることが必要と鍛え方を教えてくださいました。



「司会は場数を踏んだ方が良く、反省は大いにするが、後悔はしない。楽しいと思ってる間は続けたい」と話されるなど常に前向きな考えでした。また、司会の心がけとして「会場の人だけではなく全ての人を結びつけることを願っています。それがご縁を生み、ご縁がつながり、広がり、ご縁がご縁を生み、今の堀江がいます」と話されていました。今後、私たち青少年委員も司会をする時は、今回のお話を参考にして臨みたいと思います。

10月19日に「第30回音楽の夕べ」が開催されました。綾瀬地区対の青少年委員が実行委員長として毎年運営に携わっています。通常であれば綾瀬駅前のハト広場で開催するのですが、当日はあいにくの雨模様でしたので、お隣の綾瀬小学校校体育館での開催となりました。

当日は、まず健生標語並びに善行青少年の表彰を行いました。続いて綾瀬地区小学校5校、中学校2校による演奏の発表を行いました。

毎年担当校が演奏テーマを決めており、今年は北三谷小学校の「とどけようみんなのハーモニー」をテーマに演奏を行いました。特に小学校はこの「音楽の夕べ」の演奏を目標に普段から練習に励んでおり貴重な発表の場となっています。

最後に演奏した東綾瀬中学校吹奏楽部の演奏による「わがまち足立」を会場全員で熱唱して終了しました。



## とどけよう みんなのハーモニー

6ブロック 佐宗 良哉

# 成人の日の集い



東京武道館：令和2年1月13日(月・祝)  
 参加者：3,561人  
 区内新成人：6,444人  
 (男性 3,293人 / 女性 3,151人)

## 実行委員氏名 (五十音順)

池田 華	石井 鉄馬	小澤 優作	川口 陸	香西 美佑	鈴木 龍之	瀬田 祐樹	谷本 紗梨	吉田 昌代
井坂 真	石鍋 陽香	門脇 真音	木下 あみ	齊藤 典	鈴木 雅也	竹口 瑞希	横山 未来	若林 修平



## 実行委員あいさつ

新成人代表 池田 華

1月13日、たくさん大人の目に見守られていた私たちはこの日に「子ども」を卒業し「大人」へとなる節目を迎えることができました。

今年の成人式のテーマは「第0話 笑み咲き誇る ハレ舞台」ですが、このテーマには「第0話」に成人としてスタート地点に立ち、これから新しいことを始めるという思い、「笑み咲き誇る ハレ舞台」には笑顔があふれるような楽しい成人式にしたという思いがこもっていました。式の当日、式のテーマのように笑顔があふれ楽しんでいる皆さんの姿を見て実行委員としてとても嬉しく思いました。

このように皆さんに楽しんでもらえたのは、また無事に開催できたのは、開催にあたり尽力してくださった近藤やよい区長をはじめ、区役所の方々、地域の皆様方の支えのおかげです。心より感謝を申し上げます。



私たち新成人は、足立区で得た経験を活かし、足立区そして日本のより良い発展に尽力し輝かしい未来を担う大人になります。努力していきます。

## 新成人の皆様へ

青少年委員会副会長 宮崎 保子

新成人の皆様、おめでとうございませう。

1月13日、令和初の成人の日を祝うかのように、冬晴れの穏やかな天候の下、東京武道館を会場に足立区新成人6,444名を対象に成人の日の集いが開催されました。今日まで深い愛情をもってお子様を立派に育て上げられた保護者の皆様に重ねてお祝い申し上げます。

式典では、新成人18名の実行委員会が『笑み咲き誇る ハレ舞台』をテーマにいろいろ検討した素敵な企画で、会場がまさにワンチームとなり、大変盛り上がりました。

毎年恒例のアンケート結果からは、「自分の行動に責任を持つ」「親孝行をしたい」「足立区に住みたい」等の回答が多くあり、新成人の心優しい思いやりと足立区『愛』を感じました。

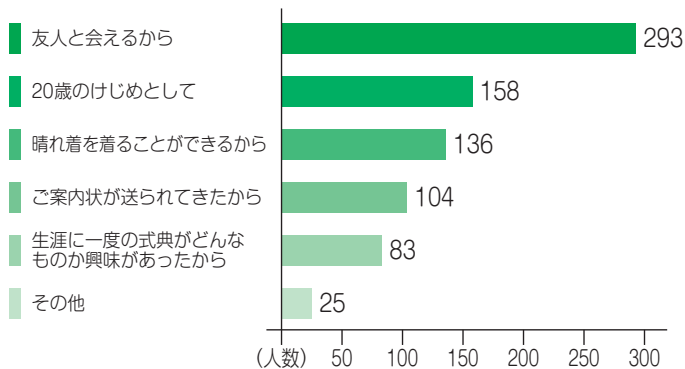
今年の成人は「AI成人」とも言われ、次世代を担う大切な世代と言われています。多様な価値観やあふれる情報の中で育ってきた新成人の皆さん。これまで培った若い感性をこれからのこの国に、そして足立区に「笑み咲き誇る」未来の実現に向けて、活かして欲しいと願っております。

# 成人の日の集い アンケート集計結果

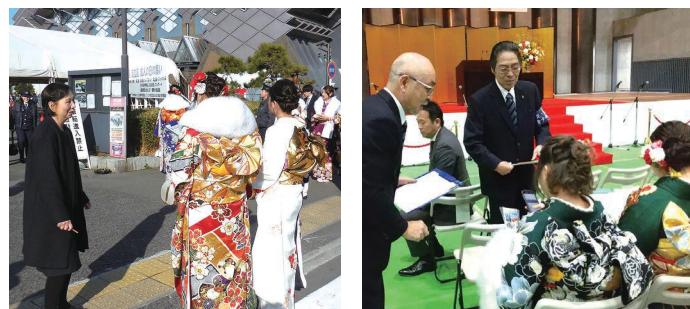
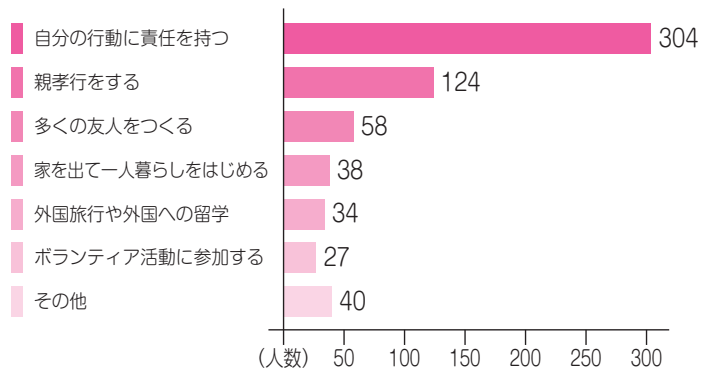
## 回答数 487名 (複数回答・無回答あり)

職業	人数
勤労者 (アルバイト含む)	121
学生	303
その他	10

### 1) 成人式に参加された理由は

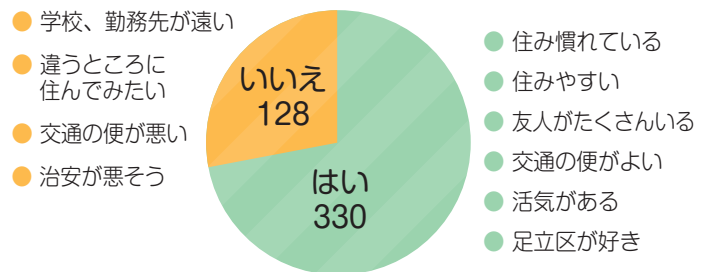


### 2) 20歳の抱負は



アンケートにご協力ありがとうございました

### 3) これからも足立区に住みたいと思いますか



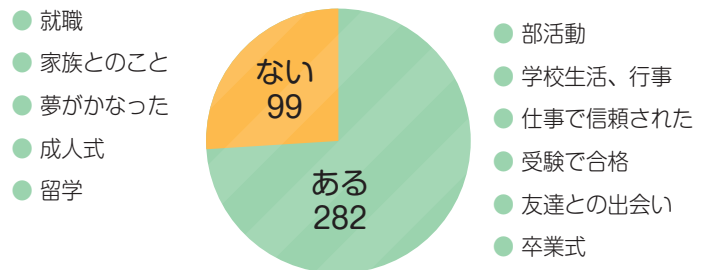
### ◆◆ アンケートを実施して ◆◆

成人式をお祝いするような晴天と暖かい日差しの中、とびっきりのお洒落をした新成人の方々に、東京武道館でアンケートにご協力いただきました。アンケートを見ると、

- ①は中学、高校卒業後に地元の友達と会える。
- ②は大人としての自覚。
- ③は地元愛。
- ④は思春期の友達との思い出。
- ⑤は目標や叶えたい夢の多様性がみられます。

アンケート用紙に書かれた一文字、一文字を見ると、地元愛を強く持った方が、多いと感じられます。様々な才能・可能性を持ち、地元愛に溢れた皆さんを、頼もしく思うと共に、更に青少年委員としても応援したいと思いました。

### 4) 今までの人生で喜び感動など心に残ることはありましたか



### 5) あなたの10年後は何をしていますか

- 仕事をしている (会社員・教員・公務員・社長・起業・宇宙飛行士・作家・作曲家・調理師・消防士・建築家・薬剤師・保育士・舞台女優・バンド・プロゴルファー 等)
- 結婚している
- 子育て
- 夢をかなえている
- 海外生活
- オリンピック選手
- 楽しく生活している



## 新田学園 創立10周年

12ブロック 倉持 智光

11月16日、晴天の中、創立10周年記念式典、祝賀会が盛大に開催されました。本校は平成22年4月に校舎一体型小中一貫教育校として開校し、生徒増加にともない平成25年4月第二校舎が開設され、現在は1,800名を越える大規模校となっております。

記念式典は第一校舎体育館において、来賓や学校関係者など220名の列席に加え、学園の5年生から9年生も参加して厳粛におこなわれました。

はじめに土肥和久校長の式辞があり、つぎに初代学園会長を務めた渡辺徳実行委員長長の挨拶、続いて来賓代表として区長、区議会議長よりお祝いの言葉をいただきました。

記念品贈呈では、実行委員長より小学校校旗とテント10セットが学校に寄贈されました。



式典最後には5年生から9年生による合唱と吹奏楽、太鼓、ダンスによるコラボレーションの演奏が行われました。はじめ

めて見るコラボレーション演奏はとてもすばらしく会場中がいへん盛り上がり、出席者の拍手喝采の中、式典は終了しました。



コラボレーション演奏

祝賀会は式典終了後バス移動にて、日暮里のホテルラングウッドにて行われました。教育長をはじめたくさんの来賓の方々からお祝いの言葉をいただいた後、鏡開きを盛大に行い、会は進んでまいりました。

懇談の中では、石鍋浩初代校長、加藤隆司二代目校長より当時ご苦労されたお話や児童、生徒たちとの思い出、地域の方々とのエピソードなどを話していただき、会場はおおいに沸きました。来賓代表の万歳三唱、皆様の笑顔あふれる中、無事祝賀会は終了いたしました。

創立10周年実行委員としては、今後も新田の伝統を受け継ぎ、地域・学校・保護者が三位一体となつて20年、30年と歩み続けていただきたいと祈念してご報告とさせていただきます。

## 東栗原小学校 創立50周年

8ブロック 速水 雅彦

11月16日、小春日和となつた良き日に東栗原小学校創立50周年記念式典・祝賀会が行われました。会場となつた体育館の後方には全校生徒による作品として東栗原小、略して東栗(ひがくり)にちなんだ栗のマスケット、左右にはクラス毎にひとりひとりの将来の夢が掲示されていました。

式典に先立ち5、6年生児童の合唱・合奏、呼びかけが行われ、花を添えてくれました。続いて式典が開始され、伊地知広竹校長より「自分の良さ、可能性、たくましく生きる力をつけてほしい」と式辞を述べられました。



5. 6年生による合唱

また、区長からは「東栗原小は、あいさつ運動を通してきちんとあいさつの出来る児童が多い。これから

の時代、子供たちにはさらにたくましく生きる力をつける事が必要です。また、地域の協力なくして学校は成り立ちません」とのご祝辞をいただきました。

祝賀会では、「高度成長期に地域に望まれてできた学校であること。第一回の入学式の時にはまだ体育館がなく校庭で執り行われたこと。体育館の建設やプールの設置を地域ぐるみで陳情したこと」などが披露されました。そういえばわが娘が通っていた当時、チチ親の会メンバーの東栗原小卒業生である保護者の方が、プール授業の時はプールを使わせてもらうために近隣小学校に行つたと話していたことを思い出しました。アトラクションとして、地域在住の方や卒業生の所属するプロサックス奏者6名による校歌をはじめとする四重奏の演奏が行われ、拍手喝采を受けていました。

これからも地域に愛され支えられる東栗原小学校であり続けるでしょう。



**ふれあい計算フェスティバル**  
笑顔で一円玉アート  
広報部 佐藤 健一

11月10日に区役所庁舎ホールで、足立区珠算教育振興会主催の「令和元年度第70回足立区民ふれあい計算フェスティバル」が開催されました。青少年委員会も後援している大会で、午前中の親子大会、午後のシニア大会が行われました。

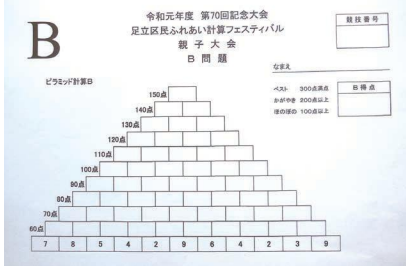
計算フェスティバルの親子大会には、母親と参加しているお子さんも多くいましたが、意外にも父親と一緒に参加している小学生も多くいました。

競技開始前の入場口に、参加者の緊張を少しでも解す事ができたらリラックスできるのではないかと、私たちは一円玉アートのご協力をお願いする事にしました。台風の影響で「あだち区民まつり」に出店できなかったのですが、この機会をいただき私達もホッとしました。一円玉ア



協力してくれた子供たち

川の下、荒敷の会場で新たな一円玉アートをお披露目できたらと思います。



令和元年度 親子大会 子供の問題 下段から隣同士の数字を足していきます

トにご協力ください。みんなの硬い表情が、笑顔になる瞬間をとて嬉しく思いました。子供たちは、競技が始まると真剣な眼差しに戻り、普段の努力の成果を存分に発揮している姿が印象的でした。計算問題に悪戦苦闘して、苦笑いしているお父さんも見受けられました。



真剣に計算問題に取り組んでいる親子の皆さん



「地縁団体の活動を広める場や伝手がなく困っていること」を「青少年委員会を介して各学校で広めることは可能です」と伝えると、団体の代表の方々がとても嬉し

休憩時間や昼休みにも、一円玉アートにご協力いただき、令和、スマイリングシンデレラ洪野日向子さん、ラグビーワールドカップ日本代表の3つのアートパネル全てを完成する事ができました。来年度は青空の下、荒

10月29日、庁舎に於いて「子どもの未来プラットフォーム 地縁団体との交流会」(主催・協働・協創推進担当課)が開催されました。今回は子供たちのために地域活動をしているNPO団体等と地縁団体(町会、自治会、民生・児童委員会、地区少年団体協議会、スポーツ推進委員会や青少年委員会)が交流することで、ネットワークを広げ、活動継続することの糸口を見つける事を目的としています。

**子どもの未来プラットフォーム**  
地縁団体との交流会  
11ブロック 酒井 廣

そうにされていました。初めて参加して感じた事は、子ども食堂などを運営している団体が自分の地域内にこんなに沢山あることに驚くと共に、皆さんが地域とのつながりが少ない事を痛感しました。青少年委員として協力できる事も沢山あると思うと同時に、我々が活躍する場も広がると考えます。このネットワークが広がり、少しずつでも寂しい子供たちに笑顔が与えられたら良いと思いました。

《参加活動団体》  
「いちかポケットの会」「認定特定非営利活動法人カタリバ」「NPO法人キッズドア」「哲学カフェparam」「こそだて喫茶cotaca」  
「特定非営利活動法人アフォーラ」  
「子ども食堂あだちキッズカフェ」  
「NPO法人子どもの学びを支援する会リエゾン・アタチ」「株式会社ナナエナジー」「ポルテあすなろ」

**令和元年度 区立学校周年記念式典実施校**

実施日	学校名	周年数
10月26日	扇小学校	50
11月2日	西新井小学校	90
11月9日	竹の塚中学校	50
11月9日	中川東小学校	40
11月16日	東栗原小学校	50
11月16日	新田学園 (新田小・中)	10
11月23日	溯江中学校	60

## 研修部の活動

研修部長 竹田 春彦

平素は研修部の諸行事にご協力いただきありがとうございます。12月に区庁舎大会議室において全体研修会を開催しました。フリーアナウンサー堀江慶子氏を講師に迎え『アナウンサーとして心がけていること』をテーマに、司会の時にどのような準備をしているか、アナウンサーになったきっかけなど具体的に講演をいただきました。急な内容変更の対処方法など準備の大切さを改めて知る機会になりました。

2月には日帰り研修会を開催しました。今夏、東京2020大会が開催されることもあり、オリンピックミュージアムや競技場、選手村を視察しました。

これからも研修会を通じて、さらなる向上心をもって積極的に活動し、学校・地域と連携して青少年の健全育成に全力で取り組んでまいります。



全体研修会 青少年委員と講師の堀江氏（中央いちばん奥）

## 事業部の活動

事業部長 原田 勉

10月12日及び13日に予定していた『あだち区民まつり(A-Festa2019)』ですが、大型台風19号の影響により開催が中止となりました。青少年委員会では、事業部が中心となり、ミニSL・ウォーターコイン・1円玉アートを出店しておりますが、その中でも事業部員が毎年自作している1円玉アートは、新元号「令和」やラグビーワールドカップなど、今年日本中を湧かせたテーマを取り上げ、例年以上の素晴らしい自信作が完成しました。このため、そのお披露目をととても楽しみにしていましたので、開催の中止は本当に残念でなりませんでした。

しかし、11月10日に庁舎ホールで開催された『足立区民ふれあい計算フェスティバル』において、1円玉アートの出店機会を設けていただいたことから、自信作のお披露目と子供たちの笑顔を見ることができ、大変有意義な活動となりました。



子供たちの協力で完成した1円玉アートフェスティバル主催者と記念撮影

## ブロックビーチボールバレー大会 — 12月22日 十四中学校体育館 —

青少年委員の親睦を図ろうとブロック対抗のビーチボールバレー大会が開催されました。10チームが熱戦を繰り広げ、第8ブロックが優勝しました。



優勝の8ブロックと下川会長(右下)、芦川ブロック部長(中央下)

## 編集後記

青少年委員会副会長

遊馬 正子

広報部では4月から小学校において施行される新しい学習指導要領について取材し特集を組みました。荒井教育指導部長を迎えて勉強会を開き、そのあとに小学校のタブレットを活用した授業を見学させていただきました。

アクティブ・ラーニング(主体的、対話的で深い学び)の推進、「生きる力」を育む学びの取組みを実現するため、子供の周りにいる私たち大人も教育の充実に向けて協力し合っていきたいと思えます。

青少年委員1期2年の任期もまもなく終了をむかえます。広報部は専門部のひとつですがその特性から、足立区青少年委員会特別号と年2回だより「あだち」の発刊、成人式特集のための新成人アンケート調査、カレンダー、そしてホームページの運営や更新も担当します。これらの製作に向けての作業は大変密度の濃い時間でした。広報部員の皆さま、本当にお疲れさまでした。